

## 鴨川市第5次5か年計画に係るパブリックコメント実施結果について（案）

### 1 趣 旨

鴨川市第5次5か年計画（原案）について、それに対する市民の皆様からのご意見を募集するパブリックコメントを実施したところ、以下のとおり貴重なご意見をいただいたので、寄せられたご意見の内容と、それに対する市の考え方等をお示しします。

### 2 意見募集期間

令和8年1月29日（木）から令和8年2月27日（金）まで

### 3 意見の提出状況

（1）意見提出者 3名

（2）延べ意見数 9件

（3）意見提出方法

- ・オンラインでの提出（L o g o フォーム） 4件
- ・窓口への文書の提出 1件

### ■「基本方針1 地域の特色を活かした賑わいと活力あるまち」

（4）移住・定住の促進について

意見の内容	市の考え方
移住・定住を進めるには、住む場所だけでなく「働く場所」が必要です。特にIT業は建物コストが低く、鴨川市の高校生の進路とも合っています。テレワークや首都圏への移動時間も考えると、移住と仕事をセットで考える取り組みが必要だと思えます。	企業誘致や雇用に関しては、「基本方針1の（2）地域に根ざした商工業の振興と企業等の誘致」において、企業誘致や創業支援による雇用の創出、ふるさとハローワークとの連携を図っていくこととしています。また、同施策の主な取組として挙げている里山オフィス管理運営事業では、医療系のシステム開発の会社や映像作成の事業者などが入居しているところでもあり、（4）移住・定住の促進の施策については、他分野との連携をしながら取り組んでいくものと考えています。

■「基本方針2 魅力あるれる住みやすいまち」

(4) 環境衛生施設の整備

■「基本方針3 自然と共生する安心・安全なまち」

意見の内容	市の考え方
「1人1日当たりのごみ排出量は改善がみられますが、リサイクル率については向上が見られません」とありますが、プラごみのリサイクルや、草や木の枝など燃やせるごみで処理するのではなく、活用出来る処理方法を検討し、燃えるごみの排出量を減らし、再資源化のシステムを進めて頂きたいです。	ごみ処理については、減量化・資源化や分別の徹底、処理施設の広域化を推進し、資源循環型社会の構築を目指すこととしています。 いただいたご意見については、今後の計画の推進にあたり参考とさせていただきます。

■「基本方針3 自然と共生する安心・安全なまち」

(3) 消防・防災体制の整備充実

意見の内容	市の考え方
「災害発生時に、障害のある人や高齢者など避難行動要支援者の安全を確保するため、一人ひとりの状況に応じた個別避難計画の策定を推進し、地域防災力の向上につなげます」とありますが、なるべく多くの避難行動要支援者の方の、個別避難計画の策定を望みます。	対象となっている方の個別避難計画の策定作業を早急に行うこととし、実態の変化に応じて個別に変更・更新を行う予定でいます。

■「基本方針4 夢と学びのまち」

(2) 生涯学習の充実と文化の振興

意見の内容	市の考え方
「文化団体等の活動を支援し鑑賞と発表の機会提供などにより芸術文化の振興を図ります。また、新たな市民会館について、その有すべき機能などの検討を進めます」とあり、市の財政は厳しいとは思いますが、国や県の文化活動事業で、使えるものがあれば是非新しい市民会館を建設していただきたいです。 市民会館は、芸術文化の振興に必要な施設であると思います。	市民会館の建設については、本市の財政状況と市民の方からの意見等を鑑みながら、検討していくこととしています。 また、勝浦市との施設相互利用の取組により、芸術・文化の振興に必要な環境整備を図っていきたいと考えています。

■「第8章 総合戦略 戦略方針2 付加価値創出型の新しい地域経済の創生」について

意見の内容	市の考え方
<p>電子処方箋や医療情報の共有は、住民の医療の受けやすさや独居の方の支援、災害時の医療データ保全など、暮らしの質に直結します。</p> <p>また、人口減少対策として「職の確保」は欠かせません。医療DXとIT企業誘致を組み合わせることで、暮らしの質と産業づくりを同時に進められると考えます。</p>	<p>医療DXの推進については、個別計画である鴨川市立国保病院経営強化プランにおいて具体的な取組が記載されており、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築における関係機関と連携の促進や、災害時には広域災害・救急医療情報システムEMIS（厚生労働省が提供する全国統一システム）への対応など「暮らしの質」の向上に活用しているところです。</p> <p>また、戦略方針3の「人や企業の集積と産学官の多様なネットワークの形成」において、施策の方向性として「産学官の多様な連携と都市との交流を進め、地域経済の稼ぐ力を強化し新産業や高付加価値型産業の創出を目指」すとしています。</p>

■「第8章 総合戦略 戦略方針3 人や企業の集積と産学官の多様なネットワークの形成」について

意見の内容	市の考え方
<p>鴨川市には医療大学があり、医療機関も多くあります。この環境は、医療×ITの実証や検証に向いていますことより企業誘致し活用します。IT企業の誘致と医療DXの実証フィールド化を、産学官連携の柱として位置づけてほしいです。</p>	<p>当該方針の施策の方向性として「産学官の多様な連携と都市との交流を進め、地域経済の稼ぐ力を強化し新産業や高付加価値型産業の創出を目指」すとしています。現在のところ、具体的な事業としての位置づけは難しいと考えますが、医療大学との交流や企業誘致の取組を進めるに当たり、参考とさせていただきます。</p>

■「第8章 総合戦略 戦略方針4. 新時代のインフラ整備とAI・デジタルなどの新技術の徹底活用」について

意見の内容	市の考え方
<p>厚生労働省が進めている地域医療連携や電子処方箋など、国の流れと合わせて市の医療情報基盤を整備できると思います。国保病院では、医療地域連携の準備が進んでいます。これを市のデジタル戦略に明確に位置づけて欲しい。</p>	<p>鴨川市立国保病院経営強化プランにおいて「DXの推進」が挙げられており、この中で今後の取組として、「国においては、「全国医療情報プラットフォームの創設」、「電子カルテ情報の標準化等」及び「診療報酬DX」等の取組を進めていることから、こうした動向を踏まえるとともに、地域における連携の状況を考慮しながら電子カルテシステムのバージョンアップを図っていきます。」とされ、また、オンライン診療システム導入の検討や、マイナンバーカードへの対応を図る旨が記載されています。</p>

■「第8章 総合戦略 戦略方針5. 広域リージョン連携」について

意見の内容	市の考え方
<p>医療の地域連携は、近隣市と協力することでより効果が出ます。災害時の医療データ保全や独居の方の支援、病院間の平時の連携など、既存の仕組みを活かせばコストを抑えて進められると思います。</p>	<p>医療の地域連携については、鴨川市立国保病院経営強化プランにおいて、次のとおり記載されています。</p> <p>「第3章 経営強化プランの内容 1 役割・機能の最適化と連携の強化 (3) 機能分化・連携強化」から抜粋</p> <p>安房保健医療圏内には、国保病院のほかに2つの公立病院があります。引き続き、各公立病院の役割・機能の明確化を図りつつ、公立病院間の連携強化を図るとともに、公的病院、民間病院等とも連携強化を図りながら、医療サービスの提供を行っていきます。</p> <p>さらには、国から地域の医療機関相互間の機能の分担・連携を推進し、質の高い医療を効率的に提供するための方策として地域医療連携推進法人制度等が示されています。今後、安房保健医療圏内における機能分化・連携強化を図る中で様々な可能性を検討していきます。</p>

■その他

意見の内容	市の考え方
<p>今回の5か年計画（案）を拝見させていただき、とても素晴らしいと感銘しております。</p> <p>『すばやく行動して、成果を出す』</p> <p>鴨川市行政に携わる方々にはたいへんな負担と思われませんが、一市民として、心よりの応援、協力をさせていただきます。</p>	<p>基本計画及び実施計画の進行管理については、行政事業レビューの仕組み等を活用し、各施策・事業の取組内容を検証・見直すことでPDCAサイクルを循環させ、計画の実効性を高めるとともに、効果的・効率的な推進を図ることとしています。</p>